

令和8年度 島根大学 秋季学位授与式 式辞

本日、ご卒業・修了を迎えられました5学部の卒業生計16名、大学院人間社会科学研究科の修了生修士課程4名、自然科学研究科の修了生博士前期課程11名、後期課程4名、論文博士1名の皆様、そして関係者の皆様、ご卒業・修了、おめでとうございます。島根大学の役員、教職員、そして、在学生を代表して心よりお祝い申し上げます。

皆さんは、それぞれの夢や想いを叶えるために島根大学で学ぶことを選ばれ、入学されました。皆さんの在学中はコロナ禍の影響は減少したと思いますが、その前後を通じて、皆さんが専門領域への興味・関心、そして、学びに対する強い意欲を持ち続け、日々努力を積み重ねることにより所定の教育課程を修められ、またコロナ禍終息後本来の姿に戻った大学生活を楽しまれ、本日ここに、学位を授与されますことを心よりお慶び申し上げます。

留学生の皆さんは、母国から遠く離れた日本、島根の地に來られて島根大学で学ばれ、それぞれの夢を叶えるため、また学びの成果を母国の課題解決や発展に活かすため、懸命に勉強されました。それぞれユニークな研究を見事に論文にまとめられ学位を取得されたこと、その過程における皆さんの努力に心から敬意を表し、お祝いを申し上げます。

卒業生、修了生の皆さんは、在学中に指導を受けた教員、ともに人生を語り、悩みを相談し、勉学や正課外活動に切磋琢磨した友人、ご支援頂いた地域の方々や、皆さんの成長を暖かく見守り、支え続けられたご家族はじめ、多くの方とのご縁と関わりの中で卒業、修了の日を迎えられました。ご支援頂いた方々に対する感謝の気持ちをこれからも忘れずに、新たな道を歩んでください。

さて、皆さんが本学で学んだ知識や技術は、皆さんのこれからの土台となることは間違いありません。一方で、皆さんは、試験に合格しても学びつくしたということではなく、論文をまとめても、なお多くの課題が残されていることを実感されたと思います。学べば学ぶほど、研究すればするほど、さらに学ぶべきこと、研究すべきことがあることを知り、実感することが、大学での最も大切な学びの一つだと私は考えます。

専門知識や技術は、加速度を増して日々新たになりますが、そのこと自体が、なお私たちが知るべきことが無限とっていいほど残されていることを示しています。そもそも私たちは、自分がここにいることを実は説明できていません。

私たちが存在する宇宙のエネルギーのうち、普通の物質で説明できるのはわずかに5%以下に過ぎず、95%はダークマター・ダークエネルギーと名付けられています。要するに何かわかっていません。さらに宇宙は1つの universe ではなく multiverse、無数存在することが理論上示されています。そのたった一つの宇宙の95%以上が未知であれば、天動説を唱えていたころに比べて、今の最先端が本質的にどれくらいより進んでいると言えるのでしょうか？

宇宙の話から、今度は私の専門の解剖学で個人レベルのお話になりますが、皆さん一人一人の顔が皆違うのが当然であるように、実は骨や内臓など身体も全く同様に一人一人が違います。医学生が解剖学実習でそれを体験し実感することは、将来臨床の現場で唯一無二の患者さんに向かう際の最も根本的な認識となります。私は医学生たちに、教科書には人類の誕生から絶滅に至るまでの全ての人間のうち、ただ1例が示してあるに過ぎず、全ての答えはお一人お一人のご遺体の中にあると、常々話していました。その一人一人が、一期一会の瞬間に、目の前の人の表情、身体の姿勢・動きを見て、聞いて、感じて、話し、考え、動くことができることがいかに奇跡的であるか、それをごく当たり前に実現している身体と心について、いまだに私たちは、実はほとんど説明できていません。

情報量は日々増していますが、最先端とは、百年前も今も、そして将来も、その時点の最先端に過ぎず、我々の知っていることは限られています。

どの道に進むにしても、何が本当の正解かは誰も知りませんから、生涯にわたって「無知の知」を繰り返し思い起こし、日々謙虚に学び続けていってください。

またテクノロジー、特に AI の進化も加速度を増し、今や政治・経済、科学、芸術、医療、さらに軍事などあらゆる分野で世界を変革しつつあります。今後どの分野に進まれても、もはや AI の影響を避けることはできず、いかに賢く活用できるかが問われます。しかし現実の社会では、AI の限界を正しく認識して、自らの責任において最終判断することが決定的に重要となります。

最終判断の重要性を象徴的に示す例として、戦場における攻撃の効率・正確さを AI が劇的に高めたことによりもたらされる結果があります。AI の「正確な」判断によって誤爆が起こる事例は、AI が判断の基準とする情報が、原理的に過去の入力によるもので、今・現時点のものではないため、一期一会の現場に対応できないことを示しています。さらに、AI の「正確かつ劇的に迅速な」判断により戦術的に成功した攻撃が、意図した結果ではなく、戦略的により難しい事態を招く場合があることは、AI が与えられた情報に基づき判断する視野の限界を

示しています。これらの事例は、いかに迅速で統計学的に正しくとも、AI の判断をそのまま現実社会に用いることのリスクを明示しています。

今世界は、残念ながら紛争や分断、温暖化など、混迷を深め、その原因の多くに我々人間が深く関与しています。そのような中、国内外を問わず、一人一人の間のコミュニケーションと、それを通じた相互理解が、平和で持続可能な世界を実現するための最も基本的で重要な基盤であることを再確認いたしましょう。

これから生涯学び続ける際、混迷・不確実の時代といわれ、人間の文明が地球の限界を超えつつある今日、SDGs が掲げるような持続可能な地球・社会を実現するために、心に留めておくべき「六方良し」という考え方があります。江戸時代に全国で活躍した近江商人の理念として知られる「三方良し」は、「売り手良し」「買い手良し」「世間良し」として、売り手・自分だけの利益を追求するのではなく、買い手の利益、社会貢献をも大切にするという考え方でした。持続可能な社会・生命環境としての地球の実現に向けた「六方良し」は、さらに3つ、「作り手良し」「地球良し」「未来良し」を加えるものです。直接・間接に関係するすべての人々に思いを巡らせ、豊かな命を育む地球を将来の世代へ伝えていくために、「六方良し」を常に心に留めて、それぞれの道を進んでいってください。

島根大学は75余年の歴史を刻み、70,000人もの同窓生を輩出してまいりました。皆さんには、卒業・修了後も、島根の地で結ばれた同窓生、教職員、地域の皆様とのご「縁」を大切に、島根大学や島根県との関わりを持ち続けてください。島根大学には、東京、大阪、名古屋、福岡、広島等国内各地の同窓会の他、現時点で海外12カ国にも同窓会があります。是非、同窓会にご参画頂き、学部や年代を超えた島根大学のネットワークをご活用下さい。さらには、島根大学で学ばれた先輩として、後輩のために本学の更なる発展のためにご支援いただければ、大変有難く存じます。

皆さんの輝かしい前途を祝し、また、これまで皆さんの成長を大きな期待を持って支え見守って下さったご家族、関係者の方々へ改めてお祝い申し上げ、学位授与式の式辞と致します。

令和8年9月18日
国立大学法人島根大学
学長 大谷 浩